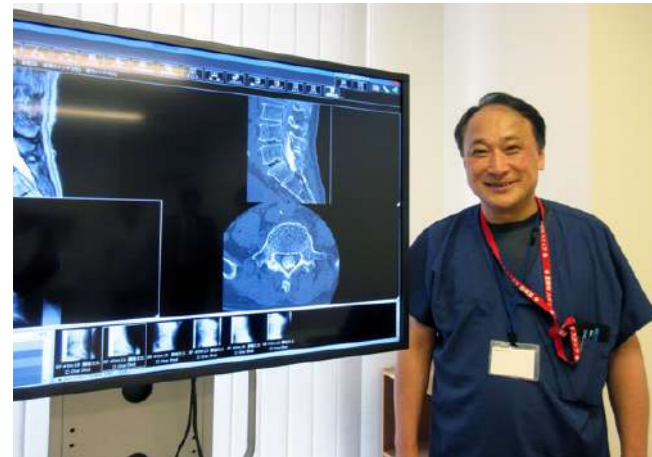


とちぎメディカルセンターしもつが

全国が注目する地域完結型医療『とちぎモデル』に適うシステムとして
診療情報統合システム『STELLAR』を導入



とちぎメディカルセンターしもつが院長 中間先生

導入経緯

施設間連携の将来を見据えた 各種システムの整備

システム導入のきっかけは、平成 25 年 4 月に行なわれた公的病院と民間病院の 3 病院による統合再編と、それに伴う当院の新築移転でした。ペーパーレス、フィルムレスへの移行と、将来を見据えた 3 施設間の連携を考えた時、電子カルテや RIS、PACS システムの整備が必要となったのです。

アストロステージ社製の製品については、すでに統合システムなどを導入されていた栃木県内の総合病院から、「有用性の高いシステムである」といった情報を聞き及んでいましたので、システムの導入を考えていた当初から強い興味を持っていました。

完全な地域完結型医療『とちぎモデル』に適う システムの構築

システムを選定の際に重要視したのは、再編された 3 施設間の連携と、当地域の開業医や健診事業との連携における発展性です。当法人は地域完結型医療を目指しており、アストロステージ社の統合システムに搭載されている患者情報共有機能はそれに適うものでした。

また、行なっていたデモにて実際に機器に触れ体験した病院関係者は、操作性や利便性において高く評価しており、集計したアンケートには「多くの画像データでも非常にレスポンスが速く、全くストレスが掛からない」といった声が多数寄せられていました。

さらにコストも抑えられるとのことから、最終的にはアストロステージ社製品の導入に踏み切りました。

導入システム

DICOM 画像管理システム	Nazca
RIS システム	NazcaRIS
診療情報統合システム	STELLAR
ドキュメント作成&管理システム	STELLARReport

導入効果

患者さんに掛かる時間的な負担と スタッフに掛かる業務的な負担の軽減

RIS、PACS システムの導入により、検査準備から画像、およびレポートの配信までの一元的な運用が可能となりました。特に NazcaRIS の情報の見やすさと、撮影の際に過去画像が素早く参照できる機能性は素晴らしく、放射線部では作業効率があがり患者さんを不必要にお待たせすることもなくなりました。

また、STELLAR による時系列表示も使い勝手がよく、サムネイルからの画像呼び出しや過去画像参照機能はきわめて有用であると院内でも評判です。検査依頼の際、患者さんへ説明を円滑に進められるようにもなりました。

診療科のカンファレンスでも、シンプルな操作性で効率のよい業務が行なわれるようになりました。手術室には 80 インチの大型モニターが設置されているのですが、マルチモダリティ機能が非常に役に立っています。

導入時には度々起こる小さな問題にその都度対応していただいたり、画面設定に苦心したりといったことがありましたが、無事に稼働している現在は導入していただいたシステムに概ね満足しています。



とちぎメディカルセンターしもつが副院長 藤栄先生

- 操作性、利便性の高いシステムで業務が効率化
- 発展性のある製品導入で施設間連携も見込んだシステム構築が実現

導入後の効果

- フィルムレス、ペーパーレスへの移行
- 将来を見据えた施設間連携

導入前の課題

とちぎメディカルセンターしもつが：システム導入時期 / May 2016



心の通う優れた医療を提供し、地域から信頼され愛されるメディカルセンターを目指します。

とちぎメディカルセンターしもつがは、前身の厚生連下都賀総合病院として昭和 30 年に設立され、長年地域の中核病院として医療を提供してまいりました。平成 25 年 4 月に公的病院と民間病院の 3 病院が統合し、「一般財団法人とちぎメディカルセンター」としてスタートいたしました。それぞれの施設が急性期、回復期、療養期、老人保健施設、在宅支援に再編し、「切れ目のない地域完結型医療の提供」を目標に新病院の建設と既存施設の整備を行ないました。この取り組みは『とちぎモデル』として全国的に注目されております。当院は平成 28 年 4 月末に新築移転して急性期医療を担っており、救急車搬送台数、救急患者が増加し、同時に手術件数も倍増する栃木県南部地域の重要な拠点病院となっております。

所在地：栃木県栃木市大町川連 420-1

病床数：307 床

診療科：内科・精神科・神経内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・腎臓内科
内分泌内科・小児科・外科・消化器外科・乳腺外科・整形外科・形成外科
脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・救急科
麻酔科・放射線科・リハビリテーション科・老年内科・病理診断科

今後の期待・要望

アストロステージ社には今後も常識にとられない自由な発想のシステム開発と、設定変更などによる不具合発生の防止に対する対策を期待しています。

今後の方針

当法人は地域完結型医療を目指しているのですが、再編した 3 施設間や健診事業との連携の整備、開業医との連携の構築などは未だ途上にあります。

少しでも早く地域内で各施設が緊密な連携を図れるよう体制を整え、当院もまた地域の中核病院として急性期医療を担い、地域住民により質の良い医療の提供を心掛けたいと思っています。



放射線スタッフの皆さん

システム構成図

